

子ども議員アンケートの結果

①「なごや 子ども市会」に参加した感想は

1.良かった	2.どちらかといえば良かった	3.どちらかといえば良くなかった	4.良くなかった
69人 (93%)	5人 (7%)	0人 (0%)	0人 (0%)

②議会や市役所の仕事についての理解は深まりましたか

1.深まった	2.どちらかといえば深まった	3.どちらかといえば深まらなかった	4.深まらなかった
54人 (73%)	20人 (27%)	0人 (0%)	0人 (0%)

③「なごや 子ども市会」の中で一番良かった内容は

1.議会と市役所の役割の説明	2.陸前高田市と名古屋市の交流についての説明	3.議場などの説明・見学	4.その他 (姉妹都市の旗についての説明等)
12人 (16%)	8人 (11%)	52人 (70%)	2人 (3%)

④陸前高田市と名古屋市の交流についての説明を聞いた感想や、こうしたらもっと交流が深められるというアイデアがあれば教えてください

- ・奇跡の一本松の遺伝子を受け継ぐ松の木が東山動物園に植えられたことを初めて知りました。
- ・毎年1回はどちらかの都市で集まって話し合う。
- ・中学校にいて交流する機会があったらぜひ参加してみたい。
- ・郷土料理をそれぞれ食べ合えば食のところで交流が深まると思う。
- ・学校同士で手紙交換を行う。
- ・修学旅行や中津川のかわりに陸前高田市に行く。
- ・東日本大震災がきっかけで、どんどん交流が深まって互いに助け合う姿がすごいなと思った。
- ・名古屋と陸前高田市の奇跡の一本松のキーホルダーをつくる。
- ・陸前高田市で津波の被害を受けた人からの話を子どもが聞く会などを開くと良いと思います。給食で陸前高田産のわかめをつかったスープが出ましたが、とてもおいしかったことを覚えています。
- ・修学旅行を陸前高田市にする。
- ・お互いの市のことを調べ、実際に観光してみたり、特産物や伝統料理を楽しみ合う。
- ・陸前高田市は遠いのに、たくさん交流していることがすごいと思いました。
- ・こちらからも訪問。
- ・いっしょに遊んだり、それぞれの名物などを教えあったりする。
- ・名古屋市が陸前高田市を助けていることがわかった
- ・陸前高田市と名古屋市が「コラボ」したものをつくる。お互いの市の伝統的なごはんを食べる。
- ・いろんな市の困りごとを協力して解決する。
- ・とても深く名古屋市が関わっていることがわかりました。
- ・奇跡の一本松の一部が東山動植物園にあるのは初めて知ったので、東山動植物園に行

って見てみたいと思います。

- ・小学生、中学生向けにもインターネットなどで分かりやすく紹介してあげる。
- ・名古屋市と陸前高田市で共同のお菓子や、名産品同士のコラボなどのお土産を作ってみるといいと思う。
- ・地域の特産物を送り合う。
- ・陸前高田市と名古屋市に交流があることを知らなかったの、知ることができてよかった。今後、もし、議員になれば、陸前高田市と協力してよりよい街づくりをしていきたい。夏休みを利用して、交換留学できたらいいなあと思います。
- ・今日、陸前高田市の子ども達と交流できた方が良かったと思いました。今まで知らなかった事が知れて良かったです。
- ・オンライン交流会を行う(身近でできるようにする)。
- ・学校の数が違うかもしれませんが、学校同士の交流があると面白いと思いました。オンラインでも継続的に交流が続けられれば、お互い顔もだんだん覚えられるようになるように思います。
- ・名古屋から陸前高田市は、遠くて行くのに時間がかかるのに行った名古屋の人達はえらいなと思いました。また、そこから交流が始まったのはすごいなと思いました。
- ・現地の陸前高田市の職員を呼んで東日本大震災の復興の大変さ、奇跡の一本松についてもう少し詳しく教えてもらえれば交流が深められると思います。
- ・Z o o mで陸前高田市と名古屋市の小学生とで災害について意見交換し、両市でイベントを開催する。市民が災害について知識を深める。
- ・違う地域に住んでいる方のために色々な支援をされていて、すごいと思いました。助け合いが大事だと感じました。
- ・名古屋と陸前高田市の特産物を両方使った、新しいメニューを一緒に考える。できたらお互いの学校の給食で食べて、感想を伝え合う。
- ・陸前高田市民と名古屋市民両方が楽しめるイベントをする。
- ・(名古屋市博物館の)「考える人」が、陸前高田市に送られるので、名古屋市もあちらのものをお借りする。
- ・名古屋めしなどの名古屋特有のものを教える。
- ・お互いのお祭を広められたらいいな。
- ・お互いの観光名所を書いたパンフレットを出してみる。
- ・陸前高田市のことを知り、信頼できるようになる。
- ・もっといいサポートや深めあえる交流を実現させればいいと思います。
- ・陸前高田市の文化だけではなく、名古屋市の文化も送る。お互い観光地巡りをする。
- ・一緒にスポーツをする。
- ・食べ物を送りあうと良いと思う。仲良くなれそうだし、相手の土地をより理解できそう。名産品を送りあう。給食で友好都市みたいに、その土地の食べ物風のメニューを出す。
- ・その県の特産品や伝統工芸品を送りあう。野外学習で、岩手県の方は愛知県に、愛知県の方は岩手県に行く。
- ・名古屋市と陸前高田市の交流で、一緒に活動したりしている。
- ・困ったときに助け合っていて、陸前高田市も助かったと思うし、その後もずっと交流を続けていて、ずっと続けばいいと思った。他の地域や国とももっと交流してほしい。
- ・とてもよくわかって、この前の社会の政治よりわかりました。
- ・市長同士でお互いに料理を食べ合う(ひつまぶしなど)。
- ・陸前高田市と名古屋市の交流についての説明を聞いて、1本だけ残っていた「奇跡の一本松」が東山動植物園におくられたことがわかったので、東山動植物園は家から近いの

で見てみたいと思いました。そして、名古屋市と陸前高田市の間で「友好都市協定」が結ばれているので、これからもずっとこのままでいて欲しいと思いました。個人的には、少しでもいいから、みんなで話し合ったり、近くの人と話し合ったりして、もっと交流が深められるといいのではないかと思います。

- ・行事（動く七夕祭り）などの資金を補助する。小中学校の旅行費を補助する。
- ・陸前高田市から名古屋市、名古屋市から陸前高田市の交通費をもっと安くしたら、多くの人が行き来できるようになると思います。
- ・陸前高田市とはとても離れているのに、助けようと考えた人はすごいなと思いました。陸前高田市と名古屋市のそれぞれのご当地グルメを給食にしたらいいと思います。
- ・議会や市役所の仕事についてなどのことをいろんな人にもっと知ってもらったら良いと思います。
- ・毎年各都市の名産品を送り合う。
- ・やっぱり、国、または県どうしでの交流や助け合いは、これからの未来に起こるかもしれないことに対策するととてもいいことだと思いました。
- ・最初は、名古屋市の職員が陸前高田市に行って、まちづくりのお手伝いをしたことがきっかけで交流がスタートして、「友好都市協定」や「友好交流協定」が結ばれてその当時、陸前高田市に行った名古屋市の職員さんはすごいなと思いました。もっと陸前高田市の特産物などが知れたらいいなと思います。

⑤「大好きな名古屋を笑顔あふれるまち」にするためのアイデアがあれば教えてください

- ・給食費を減らす、無くす。東京23区（6区ほど）のように。
- ・良い言葉をかけ合う。
- ・平日にも名古屋が休める機会をつくってほしい。最近大雨がひどいので暴風警報だけではなく、大雨警報がでたら休みにしてほしいです。
- ・路上駐車が減るように駐車場の料金を改める。
- ・地下鉄の場所によって料金が変わるのを変えてほしい。
- ・イベントをやる。
- ・学校 ランドセルorリュックで選べるようにしたい。タブレットを毎日持ち帰るのではなく2日に1回くらいにしたい。毎回持ち帰る理由：学校を休んでしまったときの連絡方法。タブレットがなくても親と電話を繋いでいるからそれで連絡（宿題・持ち物）ができる。
- ・今のままでもたくさん笑顔があふれているのでいいと思う。
- ・南海トラフ地震の備えができていないと、南海トラフ地震後の笑顔が消えると思うので、地震の備えが大切だと思います。
- ・SDGsを達成する。
- ・子ども議会の設立で子どもの声が届くようにする。公共交通機関の値下げ（特に子ども）。
- ・公園やスーパーマーケットなどの施設を増やして、住みやすくする。
- ・テレビなどの名古屋特集。
- ・CMなどで来てもらえるようにする。
- ・一つだけ何か物や食べ物を無料で買える券を新しく住みに来た人に渡す。
- ・ごみがたくさん落ちているので、ごみを落とさないように呼びかけたり、ごみ拾いの会をやったりする。
- ・人口が増えている地域があるのに、公園が少ないし、狭い公園もあります。広い公園を増やしてください。

- ・市民の声を聞き、それになるべく応えるようにする。
 - ・たくさんイベントや祭りを増やしたらいいと思う。
 - ・また、なごや子ども市会をやる。学校や会社などの治安を良くする。
 - ・多くの人に挨拶をすること。
 - ・犯罪などを増やさない。授業などをもっと楽しくする。勉強は関係するけどおもしろいイベントをたくさんつくる。
 - ・たくさん姉妹友好都市があるのだから姉妹友好都市の人達に来てもらって名古屋の良さを知ってもらおう。
 - ・地域のみんなで行動する機会を増やしたほうがいいと思う。お互いの顔を知っていれば、もしもの時も助け合える、団結することができると思ったから。
 - ・公園をもっと使いやすくする。
 - ・名古屋独自の子どものためのイベントを開いてほしい。名古屋めしの食べ放題。名古屋の子どもは無料。
 - ・名古屋の学生さんにアイデアをもらい、キャラクターを作って着ぐるみを作り、行事に参加する。プリントを作って、学校などで配布する。
 - ・過ごしやすい学校にする（設備や友だち・先生との関係）。
 - ・獅子舞など、各地域での行事を増やして、地域の人達とより仲良くなれるように交流する場をつくるといいと思います。
-
- ・1か月に1度、ものすごく豪華な給食がでたり、体育の授業にドラゴンズOBが来たり、遠足の回数が増えたり、学校をわくわくするような場所にしてほしいです。行ってみたい地域があるのですが、車がなくてなかなか行けません。栄などから、直行バスを土日だけでも出してほしいです。子ども会への助成金を是非もう一度検討していただけないか。今の助成金の仕組みだと子どもが増えるほど頭割りの金額が減ります。また、子ども会に入りたいと思わせるようなくらい、科学館や水族館など子ども会を優遇してほしいです。
 - ・名古屋市をみんなが楽しく笑顔で暮らせる町にするため、周りの人々の意見を聞いて新しい条例を作ってほしいです。また環境問題やSDGsに関する条例も行政委員会や名古屋市会で話し合ってもらい地球温暖化やSDGsを2030年までに達成できるような新たな条例も作ってほしいです。
 - ・高齢者と子どもと一緒にふれあう場所を各区に5か所くらいつくる。小学校で高齢者の方とふれあう機会をつくる。
 - ・お祭りや花火大会などを増やしてほしいです！（色々な屋台があるといい）
 - ・道路の整備をする。自転車専用レーンを作ったり、車線を増やして目的別に車が走れるようにしたりして、渋滞を解消して、交通事故を防ぐ。
 - ・緑や自然がたくさんある街がいいと思います。
 - ・観光地をアピールする。
 - ・値上げを止める。
 - ・新しく名古屋らしい料理や名所をアピールする。
 - ・名古屋の名所（名古屋城）などをたくさんの人に知ってもらおう。
 - ・たくさん木を植えて緑いっぱいの町にしてほしいです。
 - ・3世代の人たちが住みやすく、暮らしやすい地域になればいいと思います。
 - ・自分のこともだけ名古屋のみんなの人が楽しく安全に住める、生活ができる場所をよりつくる。
 - ・みんなが笑顔になる町の取り組みやポスターなど貼ったり配ったりするといいと思います。

す。

- まず、子どもが楽しめる遊園地や公園を作ってもらおう。大人のためにも、良いアルバイトや仕事ができるようなアプリ場所を作る。
- 市議長や議員の人たちが町の人と話したり、交流する（町の中や公園、広場など）。
- 名古屋城にエレベーターを付けて、足の不自由な人でも簡単に登れるようにしたらいいと思う。
- 市会のことをもっといろいろな人に広める。名古屋城とか金シャチとかのグッズをつくっていろんなところで売る。名古屋のいろんな施設の紹介ポスターを書く、つくる。「安心安全なまち」
- 科学館や博物館で年齢に関係なく遊べて学べるイベントをたくさん開催する。
- たくさんの人との交流をもっと深めて行動をしたりする。
- 名古屋のことをもっと知れるような機会をもっとほしい。
- みんながまとまる楽しい名古屋にすればよいと思う。
- もし、バスや地下鉄を乗る際に払うお金を値上げしたいとか、新しく学校を建てたいとかの意見があったら、却下して終わるのではなく、みんなでしっかり話し合っ、みんなが納得するまで結果を出したらいいと思います。もし、名古屋市の姉妹友好都市のメキシコ市やシドニー市の人と交流する機会があったら、大人だけじゃなくて自分達も、差別をしたり、そのままにしたりせずに、仲良くしたり、他の言語で難しいかもしれないけど、分かる範囲で話しかけてみたらいいと思います。
- 議会がスムーズに進むようまず議会が始まる前に具体的に出して、やるかやらないか決める。地産地消を進めるため名古屋産の物を安くする。
- もっと若い人たち(子どもたち)の意見を取り入れて、人気のある市にすればいいと思います。
- 事故や事件を減らすために、市民に何か犯罪が起こりやすそうなところはないか、アンケート調査（チラシでお知らせして、アプリでしてアンケートをもらうなど）をして、それをもとに対策をしたらいいと思います。
- 静かだと笑顔があまり増えないと思うので静かでの時間を減らしてしゃべっても良い、ちょっとした自由な時間を増やせば良いと思います。
- 東山動物園にパンダを連れてくる。
- 平和な今の状態を保った上でこの市の役に立つことをする。
- 環境に配りよしたバリアフリーな施設をつくる（図書館など）。子ども向け施設をつくる。名古屋市小学生たちにもっとくわしく姉妹友好都市を知ってもらうために、社会の教科書にたくさんのせて理解を深める。